

愛知県自然環境保全地域

吉祥山



愛知県自然環境保全地域とは

わたしたちが、健康で文化的な生活を享受していくためには、単に物質的な豊かさのみでなく、自然とのかかわりの中で、豊かな精神性を養うことが必要です。自然は、生命をはぐくむ母体であり、単に経済活動のための資源としての役割を果たすのみではなく、それ自体が豊かな人間生活に不可欠な役割をもっています。

このため、自然環境保全施策の基本となる法制度として国においては昭和47年に自然環境保全法が、愛知県においては、昭和48年に自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例が制定されました。

愛知県自然環境保全地域は、この条例によって指定されるもので、すぐれた天然林や貴重な動植物の自生地などの貴重な自然環境を有する地域を、将来にわたって保全しようとするものです。



吉祥山の自然

吉祥山は、豊川下流の左岸、豊橋市と新城市の境にあり、弓張山系から離れた標高382mの独立峰です。山頂からは眼下に蛇行する豊川や新城市の街並み、また、三河湾から奥三河の山々まで広く見渡すことができます。

吉祥山の北側には我が国最大の断層帯である中央構造線が諏訪湖付近から新城市、豊川市、三河湾を通り、渥美半島をかすめて、紀伊半島、四国、九州中部へと走っています。

この中央構造線に沿って北西側である内帯に領家変成帯^{リョウケヘンセイタイ}、南東側である外帯に三波川変成帯^{サンハカワヘンセイタイ}が带状に分布していますが、吉祥山は、この三波川変成帯を特徴づける特異な地質がみられる地域となっています。

吉祥山の地質

変成岩とは、もとの岩石（原岩）が熱や圧力を受けて鉱物が結晶し直したり（再結晶）、新しく別の鉱物（変成鉱物）が生成したりしてできた岩石です。このため、変成岩には、もとの岩石の違いや変成鉱物の種類やその集まり方（組織）によって、たくさんの種類の岩石があります。

三波川変成帯は、熱よりも圧力の影響を強く受けてできた変成岩である結晶片岩からなっています。なかでも吉祥山は山麓部を除けば、結晶片岩の一種である角閃石片岩^{カクセンセキヘンガク}で構成されています。全山、よく植物に覆われ、岩石の露頭は多くありませんが、山頂部や北尾根の祠付近などで観察することができます。

角閃石片岩は、灰色を帯びた濃緑色をしており、結晶は細粒で日の光に当てると新鮮なものでは角閃石の結晶がキラキラ輝いて見えます。詳しい研究によると、ここの角閃石片岩の造岩鉱物の主成分は角閃石で、副成分として輝石



山頂にある三等三角点



山頂部の角閃石片岩の露頭



祠付近の角閃石片岩の露頭



角閃石片岩の片理構造

斜長石、緑泥石などが含まれていて、その成分の特徴によって、もとの岩石がハンレイ岩のもと塩基性火山砕屑岩であったものの二種類があると言われています。

角閃石片岩の特徴である片理構造をもっており、その方向性はこの地域の地質構造の特徴である東北東－西南西を示しています。なお、片理とはもとの岩石が変成作用を受けたとき、新しくできた変成鉱物が圧力の影響で一定方向に剥がれやすい性質を言い、顕微鏡下でも鉱物の配列の特徴がはっきり見られます。

吉祥山の植物

吉祥山の新城市側の北斜面は、多くがスギーヒノキ植林になっているのに対して、豊橋市側の南斜面は雑木林になっています。以前はアカマツが優占するアカマツ群落でしたが、現在ではマツ枯れによってマツは少なくなりました。結果的には遷移が進んだ状態になり、ネムノキやヒサカキ、ウリカエデなどを交えたコナラ群落に変化しています。

雑木林中につけられた登山道沿いには、夏期にアキノタムラソウ、コウヤボウキ、オケラ、キッコウハグマなどの花が見られます。また、秋になれば、林床にはミヤマシキミ、コバノガマズミ、コマユミの種子が赤く実ります。クリやアベマキ、コナラなどのどんぐりも豊富に見られます。

山頂周辺の木は切られ、景色が眺められるようになっています。また、その東側には小規模なヒノキ伐採地があります。これらのため山頂付近には日が当たる明るい空間が広がり、タツナミソウやオトコエシ、アキノキリンソウ、アキノタムラソウなどの草本類が多数生育しています。

山頂下の北尾根にある祠を中心に小規模ながらスタジイ群落が見られます。これは、吉祥天をまつた古祠の森として残存しているもので、胸高直径1mものスタジイを中心にしてスタジイ、ヤマザクラ、スギの大木が10本ほど生えています。この群落の存在は、当地方ではシイ群落がこの標高(382m)でも成立することを示しています。

西に伸びた尾根にはタブノキ、ヤブニッケイ、カゴノキなど暖地性の常緑広葉樹が多く見られます。

東斜面は平成8年4月に生じた山火事により焼け、焼け残った立ち枯れ木の間からはクリやゴンズイの萌芽、ヤマハギ、クサギ、アカメガシワの発芽など、植生が自然回復してきています。



コウヤボウキ (キク科)



ミヤマシキミ (ミカン科)



コマユミ (ニシキギ科)



タツナミソウ (シソ科)



クリの実



スタジイ群落

きちじょうさん 愛知県吉祥山自然環境保全地域の保全計画

(昭和51年10月15日指定)

指定理由

吉祥山は、独立山塊をなし、その地質構造は、山麓部を除いて県下で比較的産出の稀な角閃石片岩で構成され、一部にこの岩石露頭が顕著である。

しかしながら、当該山体の東側にはゴルフ場の進出がみられ、その影響が及びつつある。

したがって、この吉祥山の特異な地質を保全するため、自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例第20条第1項第2号の地質が特異な地域として愛知県自然環境保全地域に指定するものである。

保全計画

1 保全すべき自然環境の特質

(1) 地質

県下で比較的産出が稀な角閃石片岩で構成され、山頂付近及び北尾根にその露頭が顕著である。

(2) 植生

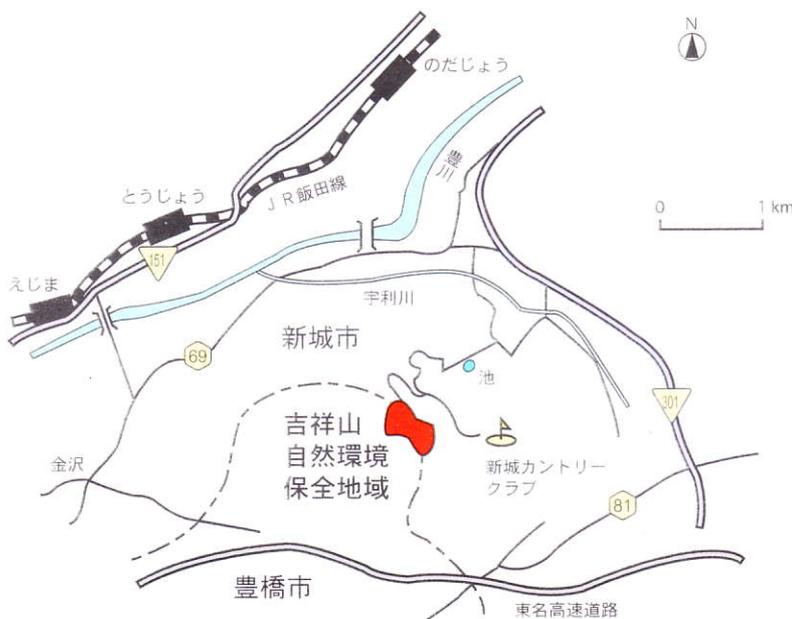
当該地域の自然植生を知るに足る胸高直径1メートルを超えるシイの巨木林が小規模ではあるが成立している。

2 面積

普通地区 (全域)
20.15ha



吉祥山自然環境保全地域区域図



所在地 豊橋市石巻萩平町字吉祥山 他
新城市大字一鍛田字吉祥山

問い合わせ先

愛知県環境部自然環境保全室

名古屋市中区三の丸3-1-2
電話 (052)961-2111(代)

愛知県東三河事務所林務課

豊橋市八町通5-4
電話 (0532)-54-51111(代)

愛知県新城事務所林務課

新城市字石名号20-1
電話 (05362)3-2111(代)

豊橋市環境対策課

豊橋市今橋町1
電話 (0532)51-2385(代)

新城市農林課

新城市字東入船6-1
電話 (05362)3-1111(代)

